

【第5号】(2015年9月8日)

**兵庫県知事への要望(8/28)**

兵庫県町村会会長・戸田善規多可町長をはじめ県内12町長は、平成28年度兵庫県予算及び施策に関する要望をとりまとめ、8月28日、県庁を訪れ、町財政基盤や医療・介護・福祉対策などの拡充強化、防災・減災対策の充実など10項目を盛り込んだ要望書等を井戸敏三知事に提出した。また、同日兵庫県議会の石川憲幸議長にも要望書を提出した。

戸田会長はあいさつに続いて、新たに就任した岩見武三・市川町長を紹介。

続いて、同会政務調査委員会委員長の清水ひろ子・播磨町長が要望内容について説明した。地域医療の充実のため、幅広い診療能力を有する医師の養成と医師不足地域への派遣や乳幼児、こどもの医療費助成事業の県補助内容の拡充などを要望。県全体の発展基盤となる「高速道六基幹軸」の整備推進とこれを補完するアクセス道路網の整備、公共交通の利便性向上、農林水産業の担い手の育成、鳥獣被害防止総合対策事業等への財政支援拡充などを求めた。

又、地域の実情に応じた町財政基盤の確立を図るため、償却資産に係る固定資産税やゴルフ場利用税の堅持、車体課税見直しの際の代替財源など、地方税財源の確保を強く国に働きかけることを要望。緊急防災・減災事業債の対象事業拡大のほか、防災情報基盤の整備促進への財政支援の拡充、教育環境の向上に必要な予算確保なども求めた。

井戸知事は「要望を重く受け止め、これからの予算編成や施策立案に反映させていきたい。国に対しても積極的に働きかけていく」と応じた。

